

「日々の理科」(第4409号) 2026,-9,-5
水彩画教室 「暮れきらぬオーロラ／スウェーデン」
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーション研究所
田中 千尋 Chihiro Tanaka

「地方地磁気時刻」という非常に特殊な時刻概念があります ごく大雑把に言うなら「地方地磁気時刻が0時の時」その地方ではオーロラが最も見えやすい」ということです スウェーデン北部では「地方地磁気時刻0時」はおおよそ「地方標準時午後10時」に相当し その頃明るいオーロラがよく見えます しかし時には まだ暮れ切らぬ空に 気の早いオーロラが舞い始めることもあります そんなオーロラが湖水に反映したら どんなに美しいことでしょう



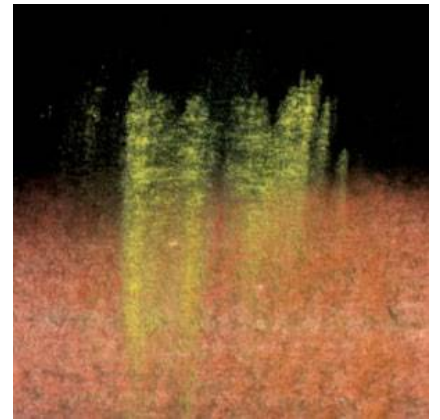
これが完成した絵です



1、主題のオーロラは 背景のグラデーションの空が完全に乾いてから 淡い緑と白のパステルで描きます



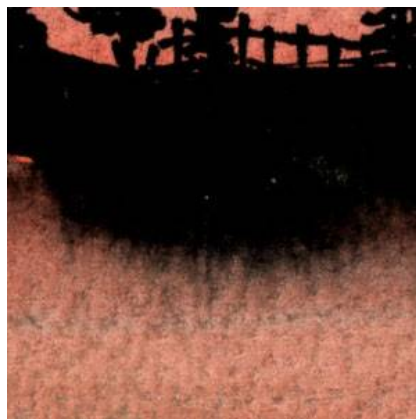
2、小屋は完全なシルエットで 窓の灯火は先に黄色のパステルで描き その後小屋を描きます



3、小屋の灯火の反映 これも黄色のパステルを 指先で下に伸ばします



4、針葉樹のシルエット 木の高さや木と木の間隔は 意図的にバラバラにします



5、黒が乾かないうちに 水だけの筆を素早く横に動かして滲ませる 「ロバート・ティリング効果」を使っています



6、オーロラの湖面への反映も パステルを指先で伸ばして表現しています